

富熊コミュニティまちづくり計画 Ⅱ



自然と歴史が調和した住みよいまち富熊

Tomikuma
Community

富熊校区コミュニティ協議会

はじめに

私たちの富熊地区は、古来より豊かな自然に恵まれ、安全で住み良い環境の中で人々の生活が育まれながら今日に至っています。近年、いわゆる平成の大合併（旧丸亀市・飯山町・綾歌町の合併）により新丸亀市が誕生し、早や10年というひとつの節目を迎えるところです。

さて、平成22年に第一次「富熊コミュニティまちづくり計画」が策定され、26年度末をもって終了となりますが、引き続き27年4月からは、第2次「富熊コミュニティまちづくり計画」を今まで取り組んできたことを踏襲しながらも、より創意工夫しながら推進していく所存です。

昨今、どの地域においても、どんどん高齢化が進んできており、当地区においても、同様の傾向が顕著です。「富熊コミュニティの年齢別人口と構成比」の推移をみても数字上にはっきりと表れ、一人暮らしの高齢者も増加しています。（別表1参照）

また、社会情勢においても、近年目まぐるしい変化があり、特に自然災害においては東日本大震災による未曾有の大被害、東広島の土石流、御嶽山の噴火等が記憶に新しいところです。いつ起こってもおかしくないと言われている「東南海地震」も大きな脅威となっています。このような状況下であればこそ、コミュニティ内の人々が、互いに話し合い、助け合い、協調・協力し合っこそ本当の意味でのコミュニティが成立するのではないかと思われまます。

これからは、日常生活の中で、一人一人が今まで以上に、一日一日のふれあいをより大切にしていかなければならないと考え、併せて若年層の協力を今まで以上にお願いしたいところです。互いに切磋琢磨しながら、より良いまちづくりを推し進めていこうと存じますので、地域住民の協力は言うまでもなく、関係機関等のご理解とご助力を合わせてよろしくお願い致します。

平成27年4月

富熊校区コミュニティ協議会

会長 杉本 壽文

< 目 次 >

第1章 富熊コミュニティの概要	3
1. 位置・地勢・気候	
2. 沿 革	
3. 年齢別人口と構成比の推移	
4. 産 業	
5. 公共施設	
6. 史 跡	
7. 自然景観	
8. 行 事	
第2章 まちづくりの計画	7
1. 計画が目指す富熊の将来像	
2. まちづくりの3本柱	
3. 計画の性格	
4. 計画の期間	
5. 計画事業	
(1) 第1柱	
(2) 第2柱	
(3) 第3柱	
第3章 計画策定資料	13

第1章

富熊コミュニティの概要



1. 位置・地勢・気候

本地区は、丸亀市の南東に位置し、瀬戸内内陸部で一年を通して温暖な気候でこれまで大きな災害はなく、東は綾川町に隣接し北は坂出市・飯山町となっています。また東には横山、竜王山など低い山地や丘陵が取り囲み、西は飯山町、南は栗熊地区となっています。河川は大東川水系に属し東大東川がほぼ中央部を流れ沖積平野が広がり古代の条理制遺構が点在しています。

本地区は瀬戸内海までわずか10キロの距離にあり、瀬戸内式気候区に属していますが一部に温度差の大きい山間部型の性格も見られます。冬は季節風が強く吹き、寒い日が多くなりますが、氷点下になることは少なく、春から夏にかけては日照時間が多くなって乾燥します。夏は高温で蒸し暑く、梅雨と台風のシーズンには雨が集中します。降雨量が少なく、日照時間が多いために空気は乾燥し、温暖で四季の変化に恵まれた暮らしよい気候です。

2. 沿革

私たちの住んでいる富熊は、明治23年2月15日から昭和26年3月31日までの富熊村としての自治体名。昭和26年からは栗熊村と合併により久万玉村、34年からは綾歌町の大字。昭和61年11月からは綾歌町の大型プロジェクトであった富士見坂団地の第一校区造成工事に着手、平成元年12月から入居が始まり、平成6年3月進入路となる町道西沖大原線が竣工して計画戸数630戸の団地が誕生しました。

郵便番号も富熊の761-2407とは別に富士見坂地区を761-2408とし、大字の人口はほぼ倍増しました。

3. 年齢別人口と構成比の推移

富熊コミュニティの年齢別人口と構成比

年齢別	平成22年2月				平成26年12月			
	男子	女子	合計	構成比	男子	女子	合計	構成比
0～5	94	100	194	4.80%	90	88	178	4.42%
6～10	105	90	195	4.82%	99	101	200	4.96%
11～15	125	124	249	6.16%	101	92	193	4.79%
16～20	128	125	253	6.26%	121	116	237	5.88%
21～30	229	228	457	11.30%	223	231	454	11.26%
31～40	234	227	461	11.40%	219	223	442	10.97%
41～50	266	304	570	14.09%	260	269	529	13.12%
51～60	347	308	655	16.20%	306	330	636	15.78%
61～65	133	131	264	6.53%	173	158	331	8.21%
66～70	86	101	187	4.62%	123	122	245	6.08%
71～75	92	110	202	5.00%	80	96	176	4.37%
76以上	137	220	357	8.83%	166	244	410	10.17%
合計	1,976	2,068	4,044	100.00%	1,961	2,070	4,031	100.00%

4. 産業

本地区は、米作りを主体とした農業が盛んであり、とりわけ大原地区では畑を活かした桃、かんきつ類の栽培が行われており、特に“八朔”は全国的にも有名で、販路を拡大しています。又、商業は小売店舗が衰退し、大型スーパーに移行している状況であります。

5. 公共施設

本地区には、富熊小学校、あやうた幼稚園、富熊保育所、富熊駐在所、消防第15分団の屯所（東沖、庄、奥川内、大原）、次見配水池、富士見坂ポンプ場、富士見坂配水池、大原配水池（タンク）、奥川内配水池（タンク）、富熊コミュニティセンター、センター分館のゆうとぴあ綾歌等があります。

6. 史 跡

イ. 神社・荒神

横山神社・八幡神社・富隈神社・富隅地神社・次見神社・正八幡宮・竜王山・石鎚神社
飛渡神社・大川神社・油山の行基さん・大原のタグリ荒神・大原の木折荒神・次見の浦谷祠・奥川内の聖天さん・奥川内のエイボハン・八頭神社・葛西祠・井伊ノ地荒神・霊神さん・東沖中塚・浦谷祠・城光溪神社等があります。

ロ. 寺院、地蔵

万福寺・圓光寺・勝縁寺・吉祥寺・立江地蔵・本村のちち薬師・吉田ト山の顕彰碑・高木南邸先生の墓・伊予見地蔵・桜荒神・新宮神社等があります。

ハ. 古墳

陣の丸古墳群・横山経塚古墳群・横峰古墳群等があります。

7. 自然景観

本地区は竜王山より眺めれば西は肥沃な田畑が広がり、小学校、保育所、そして整備された道路近くにスーパーなどもあります。これからも発展していく地域であり、のどかなゆったりした風景が静かに広がっています。

8. 行事

- 正月行事 元日、初荷、書初め、御用始め、七草、成人の日、鏡開き、小正月
- 春の行事 節分、ひな祭り、百手祭り、社日、お彼岸、端午の節句
- 夏の行事 半夏生、大祓い、土用、丑の日、七夕、お盆、盆踊り、灯籠流し
- 秋の行事 午節句、秋の大祭、地神さんのまつり
- 冬の行事 冬至、餅つき、出初め式、針供養等



竜王山からの眺望



第2章

まちづくりの計画

まちづくりの計画

1. 計画が目指す富熊の将来像

コミュニティとしては、豊かな自然、安全な住環境、歴史文化資源の確保、小学校幼稚園、保育所との連携、住民相互の協力ふれあいを中心により良いまちづくりを考えます。これを推進するため自然、歴史文化、人づくりの3つの柱を考えています。まちづくりの将来像を「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」とします。

2. まちづくりの3本柱

富熊の将来像「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」を具体化していくため次の3つのまちづくりの柱を立てます。

- ①柱 豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。
- ②柱 歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興に努めます。
- ③柱 富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

3. 計画の性格

本計画は、毎年度の部会、理事会などにおいて必要に応じて改定できる柔軟な性格を有します。

4. 計画の期間

本計画の有効期間は平成27年度から平成31年度までの5ヵ年間とします。



まちづくりの3本柱の考えと計画事業

第1柱 **豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。**

対処分野 環境・防犯・防災など

考え方 富熊が有する豊かな資源は、田園、東の竜王山、北の小高い山、東大東川が南から北に流れ本村、奥川内、大原地区にある神社などは自然と調和して美しく、また、地域としては、災害や犯罪が少なく安心して暮らせることも温かみがあるのも地域特有といえます。住民が一体になって「豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。」

計画事業（実施団体）

（環境）

- ・ 町内一斉清掃
- ・ 花いっぱい運動(花壇の管理等)
- ・ 自然の中で遊ぼう
- ・ 自治会活動
- ・ 環境意識啓発（ごみの出し方）
ポイ捨ての禁止
- ・ 地域内環境づくり
（道・水路の整備、草刈など）



（防災・防犯）

- ・ 防災研修
- ・ 防災説明会
- ・ 防災訓練
- ・ 防災行政無線
- ・ 交通安全キャンペーン
（信号無視撲滅運動等）
- ・ 防犯パトロール
- ・ 学校門など立哨



住みよい環境を守り育てる

第2柱 歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興につとめます。
対処分野 教育文化など

考え方 地域内には、多くの歴史文化がありそれを未来に承継することが現代人の使命であると言えます。また、小学校、幼稚園との交流や学習体験、保育所との夏祭りや発表会などを通して世代間交流に努めることが大切です。このため、住民一体となり、「歴史を尊び皆が参加し、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興に努めます。」

計画事業（実施団体）

- ・ あいさつ運動（保育所・幼稚園・小学校）
- ・ 地域のおじさんおばさん運動
- ・ もちつき大会
- ・ 小学校・コミュニティ交流さつまいも栽培
- ・ 保育所・小学校・コミュニティ運動会
- ・ 愛育班活動（ピーチ to ひよこ）
- ・ 富熊コミュニティ新聞（年4回）
- ・ 保育所・幼稚園の夏の夕べ
- ・ 子ども会
- ・ コミュニティ意識啓発
- ・ まちづくり計画の見直し
- ・ 地域内美しい景観（十景）



歴史を尊び、
教育文化の振興



第3柱
対処分野

富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。
福祉、人づくり

考え方

これまでの地域づくりは、何よりも自治会活動や、団体の活動を通しての蓄積で
あります。今後とも健康づくりや各種行事を通して住民一人ひとりが元気で輝く
地域づくりがまちづくりの基本です。このため住民が一体となり「富熊住民一人ひ
とりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。」

計画事業（実施団体）

- ・ 高齢者交通安全研修会
- ・ 人権擁護研修会
- ・ 敬老会
- ・ 親子料理教室
- ・ 男性料理教室
- ・ 運動教室
- ・ 各地区いきいきサロン
- ・ 老人学級（竜山大学）
- ・ コミュニティまつり



健やかに暮らせるまちづくり



竜王山越しに朝光を受ける陣の丸古墳

第3章

計画策定資料



自然と歴史が調和した住みよいまち富熊

富熊コミュニティまちづくり計画策定委員会

No.	氏名	所属	備考
1	杉本 壽文	コミュニティ協議会会長	
2	原岡 敏夫	富熊老壮連合会会長	
3	中條 弘司	富熊駐在所所長	
4	横山 好視	環境美化推進委員	
5	水澤 弘江	更生保護女性会委員	
6	吉村 悦子	愛育班班長	
7	長谷川 勝子	食生活改善推進委員会会長	
8	苧坂 久美子	生活研究グループ会長	
9	木谷 直充	綾歌中学校校長	
10	平井 勉	富熊小学校校長	
11	横田 紀美子	あやうた幼稚園園長	
12	宮川 美代子	富熊保育所所長	
13	丸尾 良一	コミュニティ協議会副会長	
14	津村 幸子	コミュニティ協議会副会長	兼 生活福祉部長
15	吉村 富夫	コミュニティ協議会会計	
16	西川 邦彦	コミュニティ協議会総務部長	
17	小路 勝美	コミュニティ協議会育成部長	
18	入屋 岩義	コミュニティ協議会防犯環境部長	
19	津村 幸子	コミュニティ協議会生活福祉部長	
20	田畑 耕作	コミュニティ協議会事務局長	

まちづくり計画の整理ー1

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第1柱ー1 豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。

計画事業の内容は次の通りです。

(環境)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
町内一斉清掃	年2回、6月と12月に地区内の清掃を行う 富士見坂自治会は別途日程で行う	防犯環境部 自治会
花いっぱい運動	年2回実施 (富小、富保、コミュニティ2館に配置)	防犯環境部
自然の中で遊ぼう	里山散策、イチゴ狩り、家畜とふれあい	富熊小学校 富熊保育所
自治会活動	ゴミの収集 (ごみステーションの管理・資源ごみの分別作業)	自治会
環境意識啓発	環境浄化のための微生物剤『えひめAI-2』の 普及活動	防犯環境部
地域内環境づくり	道路清掃、水路ざらい、草刈など	自治会



【 課 題 】

自動車の増加。

道路が狭い。

信号機が少ない。

道路の舗装が悪い。

自治会毎のゴミの収集はきちんとできているが、外部からの持ち込み、ゴミの投げ捨てや放置は後を絶たない。

環境意識啓発の意識が弱い。



【 キーワード 】

道路の整備。

信号機の設置。

美しい自然環境の保全に努める。

現在実施している町内一斉清掃、花いっぱい運動、ゴミの収集活動は今後も継続する。

ゴミの放置・外部からの持ち込みの防止策として禁止のポスターを掲示する。



まちづくり計画の整理ー2

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第1柱ー2 豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。

計画事業の内容は次の通りです。

(防災・防犯)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
防災研修	防災視察、防災講和（防災対策・防災教育）	自主防災会 自治会
防災訓練	年1回実施（コミュニティと富小との合同訓練） 防災マップの作製	自主防災会
交通安全キャンペーン	年1回実施	防犯環境部 交通防犯担当
防犯パトロール	地域のおじさんおばさん運動 特別防犯パトロール	育成部 自治会・各種団体
学校門など立哨	月1回 2か所で実施	育成部 各種団体
交通安全研修会	交通安全研修会 年1回実施	防犯環境部 老壮会・自治会
人権擁護研修会	人権擁護研修会 年1回実施	育成部 老壮会・自治会



【 課 題 】

防災意識が低い。

コミュニティ防災組織の確立。

自治会に防災組織がない。

登下校時の安全確保はできているか？

防犯パトロール「地域のおじさんおばさんパトロール」の登録者が高齢化のため減少してきている。



【 キーワード 】

犯罪が少ない。

防災組織の拡充。（コミュニティ・自治会）

災害時の緊急避難体制の確立。

定期的な訓練の実施。

防災行政無線の運用熟知。

防犯パトロールの充実した体制を継続させる。



まちづくり計画の整理ー3

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

教育文化の振興

第2柱 歴史を尊び皆が参加し、中学校、小学校、幼稚園、保育所との連携などを通じ、教育文化の振興に努めます。

計画事業の内容は次の通りです。

(教育・文化)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
あいさつ運動 保育所・小学校	防犯防災と関連するが、ここではあいさつをしながら人格形成 登校あいさつ月1回（原則毎月20日）2か所	育成部 各種団体
地域のおじさん おばさん運動	下校見守り 月2回 第1、3週の水曜日	育成部 自治会
もちつき大会 保育所	コミュニティが、もち米を提供し、保育所と地域の方々とのふれあいの場をもつ（正月の月）	総務部
さつまいも栽培 小学校2年生	5月末植え付け 10月末収穫 収穫の一部をコミュニティまつりで販売	総務部
小学校・保育所 の運動会	コミュニティとの交流・地域の人たちとのふれあい	総務部
コミュニティだより	年4回発行（4月・7月・10月・1月）	総務部
幼稚園、保育所 夏の夕べ	年1回 7月に実施	あやうた幼稚園 富熊保育所
子ども会	子ども会活動に対し補助金を助成する。 子ども獅子等の活動	育成部 子ども会
地域内 美しい景観十景	まちづくりの過程で富熊の景観の撮影作業が必要 （10か所）	

【 課 題 】

児童が年々減少してきている。
活動に参加される方の高齢化。



【 キーワード 】

学校、幼稚園、保育所とコミュニティとの交流はできているが、より強化するため協力者の若返りを図る。



まちづくり計画の整理ー4

まちづくり計画事業の課題をとりあげキーワードにまとめました。

第3柱 住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

健やかに
暮らせる
まちづくり

計画事業の内容は次の通りです。

(福祉、人づくり)

計画事業	事業の内容	コミュニティ・団体
高齢者交通安全研修会	年1回実施 8月	防犯環境部 老社会
人権擁護研修会	年1回実施 12月	育成部 老社会
健康づくり	体操教室を行っている	生活福祉部 愛育班
敬老会	敬老会 9月	生活福祉部 自治会
子育て支援事業	毎月第2・4木曜日	愛育班
料理教室	親子(年1回8月末)、男性(年1回10月末) その他料理教室	生活福祉部 食改
生き生きサロン	9か所で実施	生活福祉部 福祉協力委員
老人学級	竜山大学 月1回、健康ウォーク 但し 大学は行事が重なった場合は休講	老社会
友愛訪問	毎年11月に実施	生活福祉部 民生委員
コミュニティまつり	毎年11月に実施	総務部
生涯学習クラブ	13クラブ	センター事務局

【 課 題 】

女性の進出が出来やすい環境づくり
自治会の加入率が年々低下
コミュニティ行事の参加者が固定化している。
会館のレクリエーション施設がない。
コミュニティまつりのマンネリ化防止



【 キーワード 】

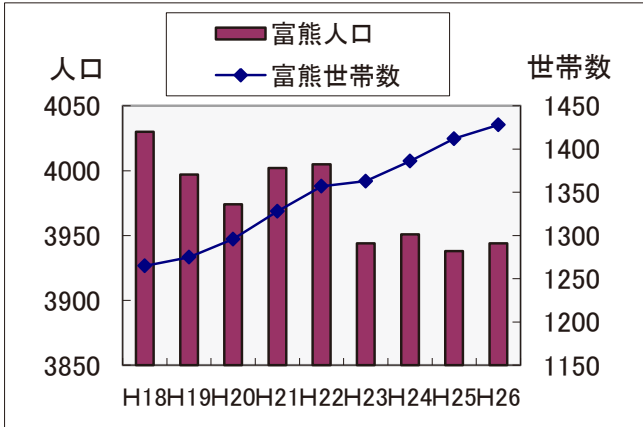
優れた人材の発掘・人材の確保
自治会の加入率の向上、未加入自治会に呼びかける方法
コミュニティのPR活動
生涯学習の推進、竜山大学の自己啓発活動、健康ウォーク



別表 1

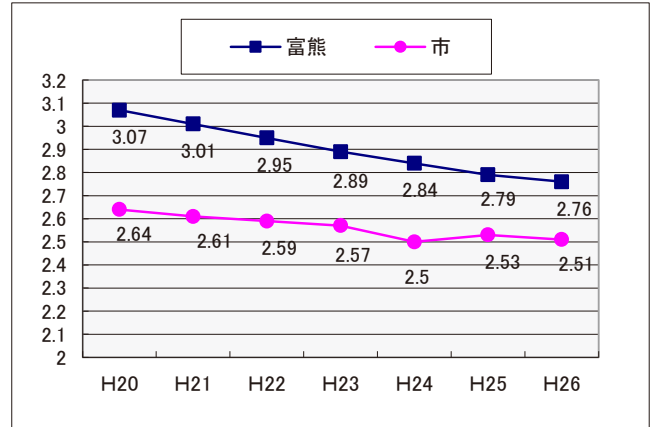
○人口・世帯数などの推移

人口と世帯数の推移 (各年の1月1日現在の人口より)



人口は近年では減少傾向。一方で世帯数は年々増加。市と同様の傾向にあり、核家族化が進んでいる。

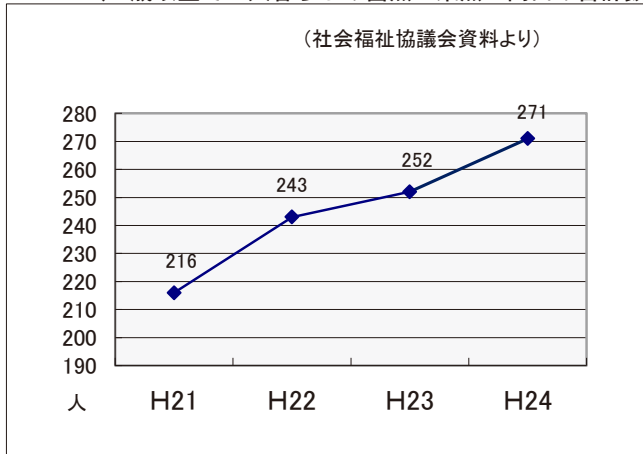
1世帯あたり人員の推移 (各年の1月1日現在の人口より)



1世帯当たりの人員は、市全体と同様に減少。市よりも減少数が大きい。

一人暮らし高齢者数

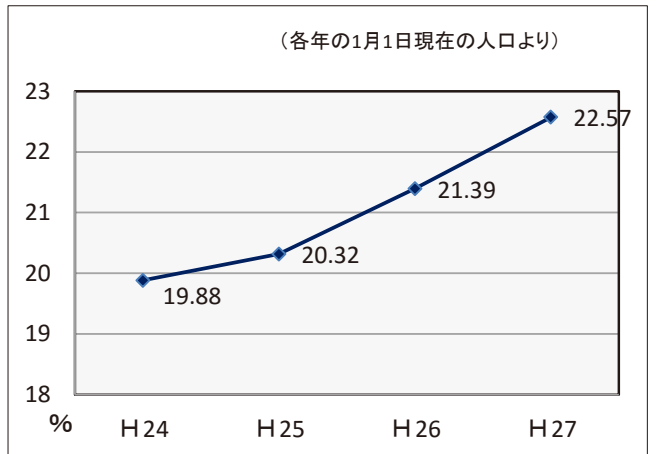
(65歳以上で1人暮らしの富熊・栗熊・岡田の合計数)



年々、1人暮らし高齢者が増えている。

高齢化率(65歳以上人口)

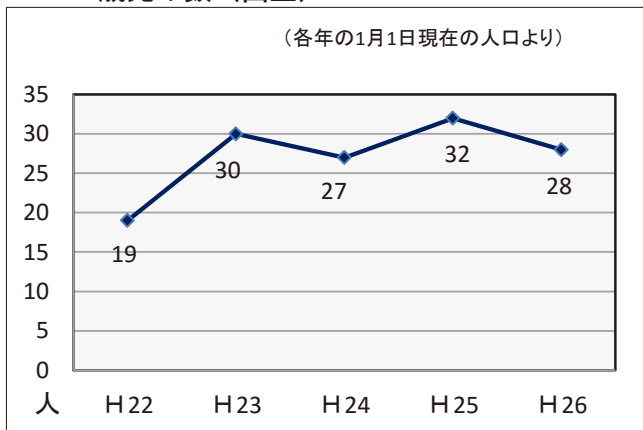
(各年の1月1日現在の人口より)



年々、高齢化が進んでいる。

0歳児の数(出生)

(各年の1月1日現在の人口より)



毎年30人前後の子どもが生まれている。

課題：核家族化や高齢化が進む中、安心して暮らしていくために、地域で支え合って生活できることが大切。



自然と歴史が調和した住みよいまち富熊

平成27年4月1日発行

編集 まちづくり計画策定委員会

発行 富熊校区コミュニティ協議会

富熊コミュニティセンター内

〒761-2407 丸亀市綾歌町富熊1192番地1

TEL・FAX (0877) 86-5224
